大学院

GRADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

大学院体育学研究科（体育学専攻）の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科（体育学専攻）は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、
多様な人材の入学をお待ちしております。

国立スポーツ科学センター（JISS）との連携大学院（博士後期課程）

国立スポーツ科学センターを主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。

鹿屋体育大学

筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの３機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。

国立大学法人 鹿屋体育大学 NIFS National Institute of Fitness and Sports
筑波大学 University of Tsukuba
JAPAN SPORT COUNCIL

大学体育スポーツ高度化共同専攻（後期３年の課程のみの博士課程）

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。

国立大学法人 鹿屋体育大学 NIFS National Institute of Fitness and Sports
筑波大学 University of Tsukuba

体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム

本学大学院体育学研究科を中心として、体育教員が所属する修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の修士（体育学）または博士（体育学）の学位取得を目指すプログラムです。

大学院生からのメッセージ

充実した大学院生活

私はテニスをコーチング及び戦術の観点から研究しています。本学には球質測定システム（トラックマン）や電子スコアブックなどの実験機器があり、テニスの研究を思う存分に行うことができています。また、大学院の授業や研究生活を通して専門競技、研究分野の異なる先生方や学生と交流することで、多くの刺激を受ける日々を送っています。本学での学びを経て、実践的かつ科学的根拠に基づいた指導をできるよう努力しています。

田代　翔
TASHIRO Sho

○大学院体育学研究科
体育学専攻（修士課程）２年
○鹿児島実業高等学校出身・鹿児島

学生生活 就職

CAMPUS LIFE & CAREER SUPPORT

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を５棟設けています。部屋はすべて個室（約６畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約４割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、１ヶ月当たり13,800円（寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円）です。規則正しい生活を送ることができるように、学部１年生から３年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

朝食代：年額75,600円（令和３年度実績）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金）。

寝具類（掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー）は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品（トイレットペーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯）は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。

居室
居室は、すべて個室（洋室）になっています。広さは約10㎡（長方形で約６畳）です。

学生宿舎Q&A

Q. 入居選抜方法について

A. 新入生においては、(1) 学生宿舎生活の支障の有無、(2) 自宅から大学までの距離及び交通手段、(3) 家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて２年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は１年間（４月～翌年３月）ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A. 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、利用できるのは原則学部２年生以上で、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません（大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です）。

Q. 周辺アパートについて

A. 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、６～８畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円～ 40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。